

全医労保育所ニュース

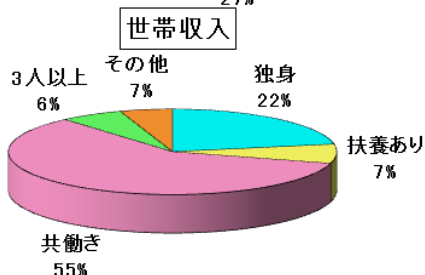
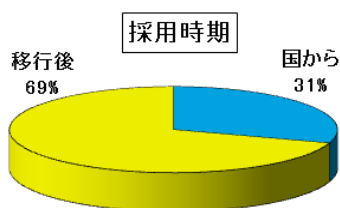
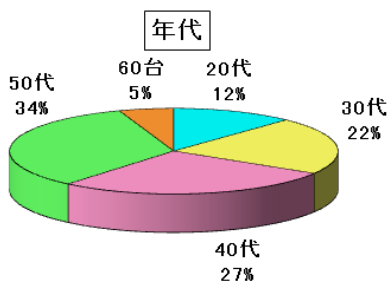
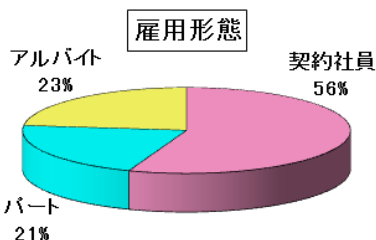
2015春闘要求アンケート結果 8割が「生活が苦しい」「賃金が安い」 「雇用不安がある」と回答



前回の調査に比べ、年代は50代が増加、雇用形態は契約が増加しパートが減少、世帯収入は独身が減少していますが、いずれも全体の構成に変わりありません。採用時期は前回と同様に国採用3割、移行後採用7割です。

3月の団体交渉で賃上げを勝ち取ろう！

2015春闘要求アンケート結果がまとまりました。今回皆さんに協力していただいた回答総数は483人でした。回答は8割近くが「生活がかなり苦しい」「やや苦しい」「賃金・ボーナスが安すぎる」「職場や仕事がなくなるのではないか」との雇用不安を訴えています。賃上げ要求では、常勤の8割近くが3〜5万円以上、非常勤の7割が100〜400円以上という要求額の回答がありました。この結果を元に「要求書」を作成し、3月22日のピジョンとの団体交渉にのぞみます。



ピジョン団体交渉
 ☆3月22日(日)
 ☆全医労会館
 打合せ 10:30~
 団交 13:30~
 各地方協の要求を持ち寄り、
 団結して団交にのぞもう！

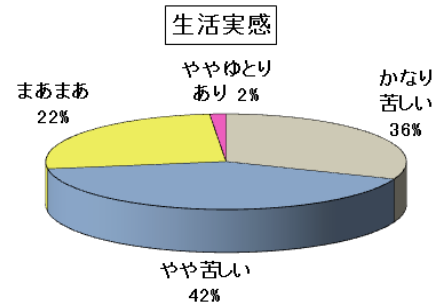
2月15日基準日 組合員数確定 過半数組織を維持！



生活実感は「やや苦しい」が増加。「かなり苦しい」と合わせると8割が苦しい生活実感を訴えており、改善はされていません。

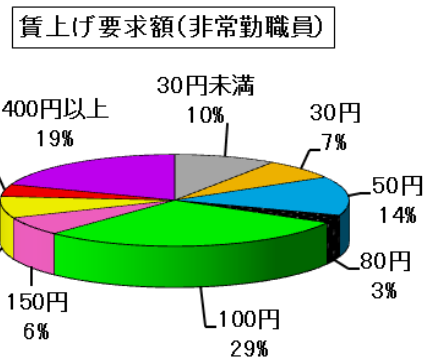
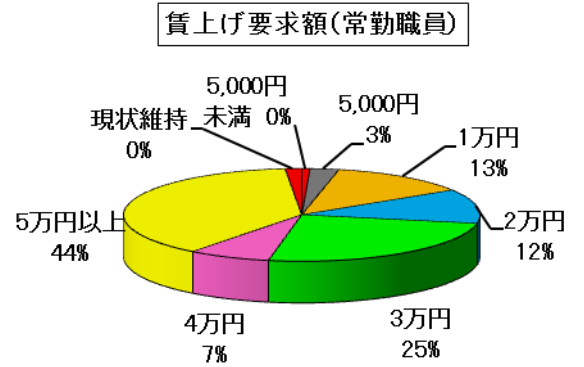
賃上げ要求は、常勤職員では5万円以上、3万円以上、1万円の順で、現状維持・5千円未満はゼロでした。全体の平均は33,340円となりました。

非常勤職員は、時間給100円、400円以上、500円の順で、



平均は158円でした。不満に感じていることでは「賃金が安い」、「職場や仕事がなくなくなるのではないか」、「休暇が取れない」という回答順となり、職場の厳しい実態が示され、重点要求のベスト3は「基本給の引き上げ」、「ボーナスの引き上げ」、「退職金制度の確立」と、昨年同様の結果でした。

この結果を元に以下の要求書を作成、ピジョンに提出しました。



2015年2月10日

ピジョン株式会社
代表取締役社長 山下 茂 殿

全日本国立医療労働組合
委員長 岸田 重信

2015年賃金改善等に関する要求書

- 基本給関係について
 - 契約社員の賃金を月額で4万円以上引き上げること。
 - パート・アルバイトの賃金を時給で200円以上引き上げること。
 - 勤続年数に応じた賃金表を作成すること。
- 賞与関係について
 - 年間賞与を4ヵ月以上支給すること。
 - 寸志の増額及び改善を行うこと。
- 諸手当について
 - 資格手当の増額を図ること。
 - 住居手当を新設すること。
 - 夜勤手当の増額を図ること。
 - 扶養手当の改善を図ること。
 - 園長業務手当の増額を図ること。
 - 早朝及び延長保育手当を新設すること。
 - リフレッシュ休暇及び手当を新設すること。
 - アルバイトの健康診断費用補助の増額を図ること。
 - 駐車料金の負担及び通勤手当の改善を図ること。
 - 寒冷地手当の改善を図ること。
 - 被服手当を新設すること。
- 退職金制度について

退職金制度を新設すること。 以上

要求記載欄より

- 特に不満に感じること**
- *事務仕事の時間が多く、持ち帰ることが多い。
- *契約ではなく、正規社員（ピジョン）で働きたい。
- *ピジョンのめざす保育の方向性がわからない。
- *十分な休憩時間が取れない。
- *入園は突然あり、今いるスタッフだけで保育しようとするので、年度途中がいつも大変。（ピジョンは人数は足りているというが）職場実態をみてほしい。
- *労働に対して賃金が見合っていない。
- *仕事量が多い。休暇を連続で取れない。人員が足りない。

院内保育所は働く父母を助け 子どもの権利・発達・生命を守るところです。 見合った賃金、働き続けられる賃金を要求します！

意見・要求 賃上げを！

- * 生活がギリギリです。基本給の引き上げを切に望みます。
- * 基本給が低いので、一人暮らしをするには厳しい。
- * 人手が足りず、保育士を募集しても応募者が来ないのは賃金が低すぎるからだ。
- * 経験年数を考慮してほしい。
- * 時給を少しでも上げていただきたい。
- * 消費税も上がり、生活がかなり苦しくなっている。賃金アップにつながることを改善要求していきたい。
- * 他の認可保育園や同業に比べて賃金が安い。

手当を！

- * 消費税にともなう給与引き上げ幅を大きくしてほしい。
- * 月給が低い分、せめてボーナスは（夏・冬）2カ月ずつほしい。
- * とにかくボーナスをあげてほしい。働き甲斐がない。
- * 自分の収入で子どもを育て、生活しているのに、子どもの成長と共に生活は大変だ。進学と共に費用はかさみ、これから自分は生活していけるのかと不安と心配を常に抱いている。
- * アルバイトとはいえ、資格があります。責任の大きさに見合う基本給は時給を求めます！
- * 経験を考慮した時給制も考えてほしいです。
- * 一般の保育所の資格手当は1万円です。1,200円はあまりにも安すぎます。
- * 栄養士手当も上げてください。
- * 消費税アップ、ガソリン代高騰…。寒冷地手当増額、全員支給を。
- * 岩手も雪深く、寒い。暖房費がかかるので、寒冷地手当の対象にしてほしい。
- * 雪が多いところでは、雪かきをしなければならず、出勤時間に間に合いません。公共交通機関も動かないため、寒冷地手当を支給してほしい。
- * 駐車場代は無料にしてほしい！

退職手当を！

- * 今年4月から駐車料金が2倍になってしまい、きついです。
- * 交通費（通勤手当）を1キロ単位で計算してほしい。
- * 一人暮らしなので、住宅手当が出ると助かります。
- * 基本給の引上げ、住宅手当の新設を強く希望します。1人の大人、社会人として、自立した生活をするのが難しいです。
- * 生理休暇等、休暇の有給化を要求します。
- * 退職金（慰労金）が10年働かないと出ないのをおかしい。10年未満で退職したら無一文か？

働きやすい職場に！

- * 退職金制度の確立は本場に必要だ。
- * 退職金が無く、退職した後も心配。賃金が安いと貯金もできない。
- * 何年働いても退職金がもらえないのは、切ない。3年働いたら、〇〇円など、確立してほしい。
- * 正社員と同じ仕事内容、労働時間なのだから、契約ではなく正社員にしてほしい。
- * 契約社員ではなく、正社員にしてほしい。
- * 園長なのに契約社員はどうなの？ 園長業務も大変なのに、手当が少ない。退職金もなく、将来が不安に感じる。退職せざるを得ない。
- * 準夜対応について、年齢が低い子（1歳〜2歳）は、体力的に無理があると思うのでやめてほしい。
- * 他の職場ではパート労働者と同じような仕事内容なのに、アルバイト扱い（アルバイトという言い方）は、あまり良い気分ではない。
- * 子どもの人数、年齢、保育士の人数、各園それぞれ違います。保育の内容も各園で違うのに、足並みをそろえて運営方針を進めていくことに疑問を感じます。
- * この賃金や労働条件では、良い人材が集まりません。長い年月をかけて築き上げてきた全医労保育所のすばらしい保育を継承していくためにも、次世代に手渡すためにも、これではいけないと思う。
- * 夏季休暇を制度化して、みんなで気兼ねなく休めるようになればいい。それだけでも、もう少し仕事をがんばろうと思えるのでは？

*資格があり、経験年数も長くなってきているのに、モチベーションは下がります。仕事は好きですが、この状況では若い人は特に魅力を感じなくなるのでは？

*毎年、少しずつ改善はされているが、60歳まで働き、退職金がないということは、本当に残念で悔しい思いがある。30年働いて10万

それはないのではないかと？確かにピジョンとしては、10年分しか関係ないが、それまでの分を国が加算してほしい。必死に働いて、この待遇はあまりにもひどいと思う。

*保育所は企業委託ではなく、病院の一職場としての位置づけを希望します。

*財形制度を作ってほしい。

*職場や仕事がなくなることが一番不安です。安定した雇用の中で、働きたいです。

*若い人が続けられる職場、魅力的な職場のために賃金アップを望みます。

*園長は保育士の数に入れないでください。ハードすぎると思う。
*60歳定年後の園長業務の継承を要求してほしい。

*将来を担う子どもたちの育成に関わる立場で、金銭面でも、精神面でもゆとりを持って接していきたい。

*保育士になって、20年。一生懸命働いていきます。毎月15万円十残業代が手取りです。毎月の明細が悲しすぎます。「委託金をもっと上げてください」と共済組合に伝えてほしい。

※149人より意見有。

組合員ゼロ保育所で 6人拡大!



引き続き過半数組織を維持し 要求を前進させていこう!

36協定締結に向けた組合員数調査では今年も過半数組織の維持・確認ができました。組織率は50.6%です。これから、締結時間の協議、確認、手続きに入ります。

この間、九州地方協内の保育所では、組合員ゼロの空白保育所が一気に6人拡大との嬉しい報告もありました。引き続き、一緒に働く仲間として未加入者に声をかけていきましょう!

保育所訪問で

九州地方協A病院の

院内保育所は、保育所職員の入れ替え等での5・6年組合員がい

ない空白保育所でした。支部は11・6(い

い・いちにち行動)など、組合のイベントには保育所にも声をかけて

ていましたが、このたび決意新たに支部長・書記長・地区書記が保育所を訪問。先に訪問の連絡したところ、先

生方が待っていてくれました。

支部は「組合員組織の過半数が割れたら大変なことになる」と九州地方協保育所連絡会

作成の「組合に入るっ!」私の一言メッセージ」を渡しながら、率直に訴えました。

先生方は、熱心に耳を傾けてくれ、その場にいた6人全員が快く加入してくれました。やったね!

組合員1人から3人へ

関東信越地方協B病院の保育所では、転出した組合員保育士が1人で奮闘していました。

先日、その組合員保育士Cさんと地方協書記長が組合説明と加入の呼びかけを行ったところ2人の先生が加入してくれました。

Cさんは転勤後、保育にかける情熱と組合の大切さを少しずつ語り、日ごろから実践することを中心してきました。その姿と人柄に打たれ、一緒に処遇を良くしていきたいと加入。信頼関係が加入に結びつきました。Cさんは「仲間ができて嬉しい。引き続き、未加入の先生方に声をかけていきたい」と話しています。良かったね!